

社内研修

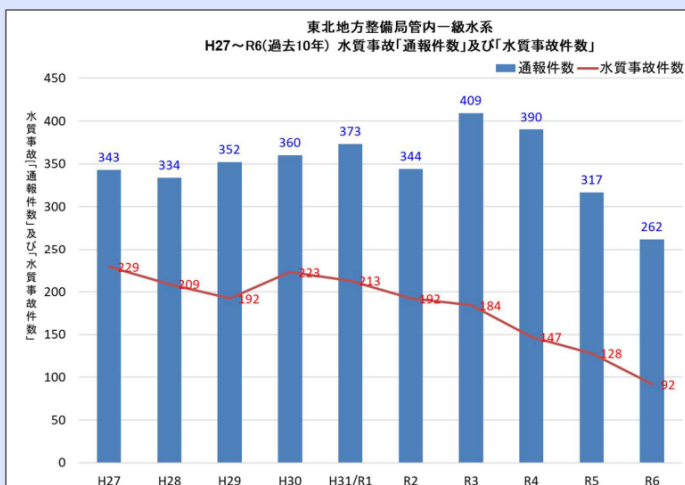
北上川水系水質汚濁対策連絡協議会下流支局
江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会
令和7年度 水質事故対応講習会

今回は、鎌田記念ホール駐車場及び近傍水路で行われた「令和7年度水質事故対応講習会」に弊社の職員が参加してまいりました。
河川や湖沼での油類等が流出する水質事故に備える為、油流出事故発生時の対応について学んでまいりましたので、その様子をお伝えいたします。



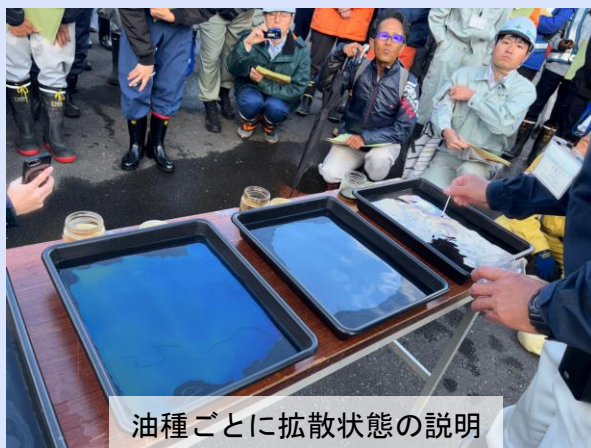
令和6年の東北地方整備局管内での水質事故「通報件数」は262件のうち、公共用水域まで流出した「水質事故件数」は92件。迅速な対応により通報のあったため半数以上が水質事故に至らずに処理されている状況です。
そのため、ガソリンを使用する作業が多い弊社でも流出事故発生時に迅速な対応ができるよう今回の講習会に参加いたしました。

引用:国土交通省 東北地方整備局
「令和6年東北地方一級河川の水質現況2024」より



油流出事故対策講習の様子

油処理について



油種ごとに拡散状態の説明



油処理剤を使用し分散状態の説明

河川に流出した油は、水と中和しない為水に浮きます。油種によって油膜の拡散状態も異なり、界面活性剤等の油処理剤は油を乳化・分散させるだけで完全に回収することはできない為、油を回収・処理することが油流出事故ではとても重要です。
講習会では、3つの油回収方法の訓練を行いました。

① 道路上（床面）等での油回収方法

油吸着材を使用



実践講習の様子



油吸着材を混ぜて回収

油がある場所の下手に土手を作り、油に路面用油吸着材を撒いてブラシで大きく混ぜ、馴染ませて回収する。回収した油は産業廃棄物として処分する。

② 側溝での油回収方法

土のうで堰き止め



実践講習の様子



側溝での事故対応

水路や側溝では土のうを積んで水を堰き止め、間には水を通す排水パイプを挟む。油が下流へ拡散することを防ぎながら、浮上する油を吸着マットを使用して回収を行う。

③ 水路での油回収方法

オイルフェンスの設置



弊社の社員も参加しました！



オイルフェンスの展張実践

水路ではオイルフェンスを使用し流下拡散を防止する。起点は下流から上流に、斜め45度を目安にオイルフェンスを展張し、土のうを水中に沈め、打設した杭にロープを結び付けて固定する。上流側に油を集めて吸着マットで回収する。

今回の講習会を通じて、油流出時の事故処理は迅速な対応が求められ、事故に応じて様々な回収方法がある事を学びました。水質事故が発生した場合に備え、より迅速な事故対応ができるよう日頃から社内訓練を行い、周知してまいります。